

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4年通年	4	4	必修
担当教員			
電気電子工学科教員			
添付ファイル			

講義概要	各人の学問的関心に基づいて指導教員を選び、その教員の指導の下で学術的テーマを定めて、これについて4年次の大部分をかけて研究を行う。したがって、平日の日中全ての時間（5コマ分）を研究活動およびその関連活動にあてる必要がある。ただし、講義や就職活動、その他やむを得ない事情がある場合は、指導教員の了承を条件として、その時間を減免する。 研究成果は論文にまとめて提出すると共に、研究発表会で発表する。
授業計画	1 各卒業研究担当教員の指導によりテーマを決めて実施する。
授業形態	研究を行う。 アクティブラーニング ④, ⑤, ⑥に該当する
達成目標	研究計画の立て方、研究の実施方法、研究倫理にもとづいた公正な研究のあり方、成果のまとめ方、研究発表のしかたを身につけ、実行できる。
評価方法・フィードバック	上記目標を達成した上で、卒業論文の提出と発表会での発表による。 ●フィードバックについて 【作成段階】卒業研究の進捗状況に応じて、随時フィードバックを行う。 【卒業研究発表会時】質疑応答の時間に必要に応じてコメントする 【卒研提出後】WEBポータル「ディプロマサプリメント」上で、ディプロマポリシーの達成状況をレーダーチャートにして表示する
評価基準	1) 「合格」：卒業研究テーマを論文にまとめて提出し、研究発表会で発表して一定の評価を得た場合 2) 「不合格」：卒業研究テーマを論文にまとめて提出しないか、提出しても研究発表会で発表しない場合
教科書・参考書	卒業研究担当教員との相談による。
履修条件	なし
履修上の注意	卒業研究は教員の指導の下ではあるが、学生が自主的に行うものである。研究にあたって必要な事柄はセミナーその他で教員から学ぶことが多いであろうが、それのみではなく自分から学ぶ態度が要求される。研究はもちろん自分で行うものであるから、研究の成果は自分自身の努力に応じて得られるものである。卒業論文を書くこと、および研究成果を口頭で発表することも重要である。自分で行った研究をまとめ、他の人に理解してもらうことは決して容易なことではない。これはまた社会に出てからも大切な事柄である。また、研究をまとめている間に自分の研究への理解が深まり、重要な事柄を見出すことも少なくない。このようにして一つの事柄を一年間かけてじっくり考えかつ実行することは、学生諸君にとっておそらくは初めての経験であり、その時得た経験が諸君の一生に大きな影響を与えることになるであろう。この意味で卒業研究に対する各人の自主的な努力が強く望まれる。
準備学習と課題の内容	3年までの履修科目を復習しておくこと。準備学修時間は「セミナー」参照
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:20%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:20%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	